石原産業株式会社

CORPORATE PROFILE

革新のケミカル。

世界の未来を

化学で革新する。

私たちの先人は、豊かな生活を営むため、厳しい自然の中、長い歴史の中で「道具」を生み出し、
それを「科学」として発展させてきました。
私たち人類は、これからも「科学」を発展させるため歩み続けるでしょう。
そして、私たち化学企業体は、地球にやさしい「化学」の研究・開発を追究し、
人と自然とテクノロジーの調和に取り組み、歩み続けていくでしょう。
その歩みの中で、地球にやさしい生活環境を創造するため、新たな製品を創り出すことが、
私たち石原産業に課せられた使命です。
私たちは、全ての人々がより良い環境で生活を営める社会環境の実現のため、
長年「化学」の世界で培ってきた技術力を活かし、
「化学」の力で世界の未来を「革新」することを目指してまいります。

無機化学事業

白色　環境

有機化学事業

農業　医療

グループ企業

■連結子会社　■持分法適用関連会社
■非連結子会社　■持分法非適用関連会社

【ベルギー】
■ISK BIOSCIENCES EUROPE N.V.
欧州農薬事業統括及び農薬の製剤・販売

【オランダ】
■CERTIS BELCHIM B.V.
農業関連資材の販売

【アメリカ】
■ISK AMERICAS INCORPORATED（オハイオ）
米国所在子会社の統括管理
■ISK BIOSCIENCES CORPORATION（オハイオ）
米州農薬事業統括及び農薬の製剤・販売
■ISK BIOCIDES, INC.（テネシー）
木材防腐剤の販売
■IBC MANUFACTURING COMPANY（テネシー）
木材防腐剤及び農薬の製造
■ISK ANIMAL HEALTH, LLC（オハイオ）
動物用医薬品の製造・販売
■ISHIHARA CORPORATION (U.S.A.)（カリフォルニア）
主として無機製品の販売
■SUMMIT AGRO USA, LLC（ノースカロライナ）
農業関連資材の販売及び農薬の製造

【メキシコ】
■ISK BIOSCIENCES, S.A. DE C.V.
農薬の登録・販売

【ブラジル】
■ISK BIOSCIENCES DO BRASIL DEFENSIVOS AGRICOLAS LTDA.
ブラジルにおける農薬の登録及び市場開発

【台湾】
■台湾石原産業股份有限公司
無機製品の販売

【韓国】
■韓国石原産業株式会社
無機製品の販売
■ISK BIOSCIENCES KOREA LTD.
韓国農薬事業統括及び農薬の製剤・販売

【タイ】
■ISK BIOSCIENCES (THAILAND) LTD.
タイにおける農薬の登録及び市場開発

【インド】
■ISK BIOSCIENCES INDIA PVT. LTD.
農薬の登録及び製剤・販売

【中国】
■浙江石原金牛化工有限公司
農薬の販売
■石原（上海）化学品有限公司
農薬の登録・販売

【フィリピン】
■AVC CHEMICAL CORP.
農薬の販売

【日本】
■石原バイオサイエンス株式会社
農薬の販売
■石原テクノ株式会社
商社業（無機、有機及びその他）
■富士チタン工業株式会社
酸化チタン、機能性材料等の製造及び販売
■MFマテリアル株式会社
機能性材料の製造及び販売
■石原エンジニアリングパートナーズ株式会社
建設業
■石原酸素株式会社
産業ガスの製造及び販売
■石原鉱産株式会社
資産管理
■ジェノミディア株式会社
資産管理
■ホクサン株式会社
農薬の製造及び販売

無機化学事業

暮らしを白で革新。

日常生活を彩る“白色”を造っています。

あなたが毎日どこかで見たり乗ったりしている自動車や飛行機、
普段の生活に欠かせない洗濯機やエアコン、そして家の外壁や壁紙など、
日々の生活を彩る白色の多くは、石原産業の酸化チタンから生まれています。
さらに、電子機器部品や有機汚染物質の分解、汚染土壌の浄化といったところにまで、
酸化チタンに関わる革新的技術を活用しています。

「白色顔料」酸化チタン

白色顔料の代表的な素材である酸化チタンは、塗料、インキ、プラスチック、紙、化粧品など、私たちの日常生活に密着したさまざまな分野で使用されています。

機能性材料

電子機器部品、帯電防止材料、大気汚染防止に役立つ触媒など、酸化チタンで培った技術を活用して、暮らしから環境まで幅広い用途で使用されています。

艶消し材料

特殊な表面処理技術により、高耐候性をもちつつ艶消し効果を発揮します。

遮熱材料

近赤外線を反射する材料を塗料、プラスチックに添加し、建物の屋根や外壁、道路に施工することで「熱の遮断」を実現します。

環境商品

酸化チタンの副生品である石膏や酸化鉄を当社独自の超微粒子技術で高機能化することで、土壌改良材や環境浄化材として展開し、環境負荷低減に取り組んでいます。

生活用品から大型建造物まで「白色」を造る。

酸化チタン　当社は、硫酸法プロセスに加え、高度な技術が必要で産業廃棄物の排出量が少ない塩素法プロセスを国内で唯一併せ持ち、世界の暮らしを彩る「白色」を造っています。

タイペーク

日本でトップシェアを誇り、世界中のお客様に親しまれている「タイペーク」。高品位の白さ、下地を隠す高い隠ぺい力、樹脂に対する強い着色力などの特長を持つ、酸化チタンのトップブランドです。

タイペークイエロー

高い安全性と、耐候性、耐熱性、耐薬品性に優れた黄色顔料として、塗料、プラスチック等幅広い用途で使用されています。

さまざまな快適を創る。

機能性材料　当社独自の微粒子合成技術、表面処理加工技術などにより、快適な生活環境を目指して、従来の白色顔料用途以外の多種多様な用途展開を行っています。

導電性材料

埃や帯電を嫌うクリーンルームの床塗料や、自動車の樹脂バンパーの静電塗装を可能にする導電性塗料などに使用されています。

高純度酸化チタン

セラミック電子部品材料に最適な酸化チタンを提供しています。

高い質感を実現する。

艶消し材料　耐候性や塗膜維持など、艶消し塗料の物性的障壁を減らし、デザイン性の向上に寄与します。

艶消し材料

高い艶消し効果（底艶抑制）と「高耐候性」を併せ持った艶消し塗料用材料。滑らかな手触り感のある塗膜を実現します。隠蔽力と白度を兼ね備えた白色タイプと、濃色に対応した非着色タイプがあります。

人と環境にやさしい空間を造る。

遮熱材料　快適な住環境づくり、CO_2削減、省エネなど生活環境に貢献します。

遮熱材料

白色、黒色、透明の無機遮熱材料です。近赤外～赤外光領域の遮蔽能を有し、遮熱が要求される塗料やプラスチック用途に使用されています。

土や水など自然環境を護る。

環境商品　当社独自の超微粒子化、高機能化技術により、土壌改良材並びに環境浄化材として提供し、土や水など生物には欠かせない自然環境の再生に貢献しています。

土壌・水質汚染対策

重金属不溶化材は、土壌や地下水に含まれる重金属を吸着不溶化して汚染の拡散を防止し、VOCs分解材は、汚染土壌や汚染水に含まれる揮発性有機化合物を分解して浄化し、環境汚染の低減に役立っています。

軟弱土のリサイクル

石膏系土質改良材は、建設現場の汚泥や軟弱な土を、より早く、安全で人にも生き物にも優しい状態に改質し、土壌のリサイクルに貢献しています。

有機化学事業

食と健康、彩りに革新。

“食べる”を豊かに。“生きる”を健やかに。“日常”に特別を。

毎日のより良い食と健康、生活に貢献するため、弛まず研究・開発を進めています。
あらゆる食材を安全かつ安定供給させる私たちの農薬が、
そして医療の進化を加速させる私たちの医薬品が、食と健康に深く関わっています。
さらには、バイオの技術で開花させた、世界に一つだけの花色をお届けします。
石原産業は、これらの分野に独自の技術で革新をもたらし、世界を支え続けています。

農　薬

半世紀以上にわたり培ってきた世界トップクラスの技術力を活かし、安全性が高く環境への負荷が少ない農薬を開発することで、世界から高い評価を得ています。

動物用医薬品

ペットの生命・健康を守る画期的な動物用医薬品の研究・開発及び製造販売を行っています。

青色コチョウラン

15年以上にわたって研究開発を重ね、世界初の天然の青色を叶えたコチョウランです。

医　薬

農薬開発で培った有機合成技術を活かし、医薬品の有効成分となる原薬、原料となる有機中間体などの開発・製造・販売へと新たなビジネス領域を広げ続けています。

農作物の安定供給を支える。

農　薬

当社は、約70年前に海外から除草剤を導入し、国内農薬事業のパイオニアとして、世界トップクラスの開発力で人体や環境にやさしい農薬製品をグローバルに提供し、世界の食卓に上る農作物の安定供給を支えています。

除草剤

水稲、畑作などの作物の雑草を長期間防除する、安全性の高い除草剤を供給しています。

殺菌剤

環境、動物・人に対する高い安全性を実現し、卵菌、子のう菌類などに属する重要病害の基幹防除剤として幅広く使用されている独自性の高い剤を供給しています。

殺虫剤・殺線虫剤

幅広いスペクトラムを持つ殺虫剤、アブラムシなどの吸汁性害虫に高い効果のある殺虫剤、土壌中や地上の害虫を同時に防除できる殺線虫剤など、独自性の高い剤を供給しています。

生物農薬

ハダニ類等の害虫を防除する天敵生物製品や、菌核病に優れた効果を示す微生物製品を供給しています。これら生物農薬に影響が少ない防除技術を組み合わせることで化学農薬の使用を減らし、環境負荷低減に貢献しています。

ペットの健康を守る。

動物用医薬品

ペットを疾病から守り、オーナーがより安心できる新薬とサービスの提供を目指します。

犬用抗膵炎剤

世界初となる犬用抗膵炎剤「ブレンダ®」を国内で製造販売し、本製品の原薬を共同開発先にも供給しています。また、米国では「PANOQUELL®-CA1」がFDA（米国食品医薬局）の条件付き承認を取得し、販売を行っています。今後、欧州、その他地域での承認取得、商業化を推進するとともに、ペットオーナー及び動物医療従事者の方々のニーズに応える優れた製品を提供していきます。

こころ豊かな生活に貢献する。

青色コチョウラン

多くの困難を乗り越えて開発に成功したBlue Gene®。“色褪せない価値”を、大切な方へのギフトやお祝いなど、様々な場面でご愛顧いただき、こころ豊かな生活に貢献します。

Blue Gene®（ブルージーン）

青色色素を持たないコチョウランにツユクサの青色遺伝子を組み入れ、今までの品種に無い気品ある花色を実現しました。

医療の進化に貢献する。

医　薬

医薬品開発の起点となる医薬品原薬や有機中間体は、国内外より高い評価を得ています。
人々の健康を守るために欠かせない医薬品分野において、大きな役割を果たしています。

有機中間体

医薬の生理活性発現に大きな力を発揮するCF3-ピリジン誘導体をはじめ、新しい医薬品の開発に当社の有機中間体と合成技術が貢献しています。

医薬品原薬

農薬事業で培った技術力を活かし、GMP（医薬品等の製造品質管理基準）対応の医薬原薬工場にて高品質な医薬品原薬を製造し、国内外医薬品会社へ安定的に供給しています。

研究開発

世界最先端の開発力。

人と地球にやさしい技術で、オンリーワン製品を。

国内外で高く評価されている無機・有機分野のあらゆる製品の強みは、
創業から培ってきた独自の技術開発力による高付加価値化にあります。
未来を見据え、新規分野へも積極的にチャレンジする研究開発体制を確立し、
人と地球にやさしい革新の技術で、オンリーワンを創出し続けています。

無機化学部門

研究棟（四日市）

無機化学部門では、酸化チタン顔料の製造で培った微粒子合成技術などのコア技術を活用し、環境・省エネに貢献する高付加価値製品の研究・開発を進めています。また、新規事業を開発するための基礎研究や、次世代製品を製造するためのプロセス開発にも積極的に取り組んでいます。

電子顕微鏡

実験室

有機化学部門

中央研究所（草津）

有機化学部門では、世界の食料の安定確保に貢献するため、高い安全性と環境適合性を持ち、効果の高い農薬の研究開発に取り組んでいます。また、近年では、医療分野や動物のヘルスケアを対象とした商品開発も行っています。

研究室

実験室

生産体制

安全・安心の品質力。

世界に誇る生産体制が、世界の今日を支えています。

酸化チタンをはじめ、さまざまな製品の製造拠点となるのが四日市工場です。
約700,000㎡の敷地には、1日200,000トンに対応する排水処理施設をはじめ、
万全の環境・品質管理により、世界トップレベルの生産体制を実現。
安全・安心かつ高品質な製品を安定供給し、今日も世界を支えています。

酸化チタン工場

わが国唯一の塩素法酸化チタン工場を所有し、塩素法と硫酸法の2種類の製造プロセスで、国内の酸化チタン生産量の約50％を生産しています。また、アジア地域をはじめ世界各国へも輸出しています。

四日市工場

医薬工場

酸化チタン工場（計器室）

石原産業の品質マネジメント体制

当社四日市工場は、1996年4月にISO9001を取得し、トップレベルの品質管理を継続。定期的なQMS[注]内部監査をはじめ、MS(QMS/EMS)委員会や品質管理委員会の設置により、高品質を実現するマネジメント体制を整えています。

注）QMS:Quality Management System（品質マネージメントシステム）の略

機能性材料工場

超微粒子酸化チタンや高純度酸化チタン、光触媒酸化チタン、白色導電性粉末など、生活と密接に関わる機能性材料製品を製造しています。

農薬製剤工場

除草剤や殺虫剤、殺菌剤などの農薬製剤の商業生産を中心に行っています。

医薬工場

唾液腺・涙腺の障害による口腔乾燥等の症状が現れるシェーグレン症候群の治療薬「セビメリン塩酸塩水和物」の原薬を製造し、医薬品メーカーに供給しています。アメリカ食品医薬品局（FDA）にも製造承認されています。

化成品工場

酸化チタンの副産物を有効利用し、石膏、酸化鉄などの生産と、環境改善に貢献する環境商品の生産も行っています。また、各工場の排水を法令に基づき適切に処理しています。

環境保全

革新と環境保全の両立。

「決して環境を引き換えにしない」を胸に。

「技術革新と環境保全」、これは化学メーカーに与えられた永遠のテーマ。
過去の経済活動優先が招いた結果を胸に刻み、当社では各事業地の環境保全部門と
全社的な牽制部門を設置し、万全の環境保全体制を構築しています。
積極的な環境保全活動を通じ、持続可能な社会の達成に貢献し続けていきます。

石原産業の環境マネジメント体制

当社は、広範な環境保全、安全衛生、化学物質管理、気候変動対策に関する最高方針を審議する環境・安全衛生対策委員会の下に各種委員会や審議会を設置し、環境・安全衛生に係る諸活動を推進しています。また四日市工場では、2011年4月にISO14001を取得し、定期的なEMS[注]内部監査をはじめ、MS(QMS/EMS)委員会や環境保全委員会の活動を通じて、日々の環境管理活動に取り組み、さらなる改善に努めています。

注）EMS:Environmental Management Systems（環境マネジメントシステム）の略

RC活動の推進と情報を発信する。

レスポンシブル・ケア（RC：市民の関心に耳を傾け、対話による相互理解を目指す）活動を推進。環境保全・安全衛生などの情報を統合報告書で発信しています。

統合報告書は当社HPで
ご覧いただけます。

化学物質を適正に管理する。

すべての製品や中間体について、危険有害性情報をまとめたSDS（安全データシート）などを作成し、お客様への情報提供並びに社内教育を通して環境保全、安全衛生及び法令遵守の活動に役立てています。

化学物質の安全性に関する
情報を提供しています。

環境保全情報を公開する。

四日市工場正門前に環境情報掲示板を設置し、環境保全情報を常時公開しています。来場者への情報提供や従業員の環境意識向上に役立てています。

排ガス中のNOx値、排水総量規制の
項目等を公開しています。

企業市民として地域と共生する。

工場見学会や地域行事への参加など、住民とのコミュニケーションを積極的に行っています。地域に共生する企業市民として、より開かれた化学メーカーを目指します。

工場周辺の清掃活動を自主的に行い
植花活動にも参加しています。

会社概要

商　　号	石原産業株式会社 ISHIHARA SANGYO KAISHA, LTD.
本　　店	〒550-0002 大阪市西区江戸堀一丁目3番15号
創　　業	1920年9月10日（大正9年）
設　　立	1949年6月1日（昭和24年）
事 業 所	本社、中央研究所、四日市工場、 東京支店、中部支店、札幌営業所、 仙台営業所、福岡営業所、 アルゼンチン支店、シンガポール支店

基本理念

●「社会」、「生命」、「環境」に貢献する。

●株主、顧客・取引先、地域社会、
従業員を大切にする。

●遵法精神を重んじ、透明な経営を行う。

行動基準

●社会から信頼される事業活動を行うため、
社会規範、法令、会社の諸規定を遵守し、
高い倫理観と良識をもって行動する。

●ものづくりに際しては、地球環境との
調和を図り、常に安全確保に万全を期し、
無事故・無災害に努める。

●相互協力、相互理解により人権を尊重し、
風通しのよい働きやすい職場をつくる。

●企業活動の透明性を保つため、
企業市民としてコミュニケーションを重視し、
企業情報を適時、的確に開示する。

沿　革

1920年 9月	創始者石原廣一郎が、マレー半島ジョホール州スリメダン鉱山（鉄）開発のため、大阪市に合資会社南洋鉱業公司を設立
1924年 5月	マレー半島の鉱山（鉄、マンガン）を買収、また自社船で海運業を兼営
1929年 8月	商号を石原産業海運合資会社と改称
1934年 3月	株式会社に組織変更し、三重県に紀州鉱山（銅、硫化鉱）を開設
1938年 10月	四日市工場（三重県）建設に着手（1941年1月銅製錬所、硫酸工場完成）
1943年 6月	海運業を日本海運株式会社に譲渡し、石原産業株式会社に社名変更
1949年 6月	企業再建整備法により解散し、第二会社三和鉱工株式会社を設立し再発足 同月石原産業株式会社に社名復帰
7月	東京・大阪両証券取引所に株式上場
1950年 4月	四日市に除草剤製造工場完成
1952年 7月	四日市に化成肥料工場完成（1990年2月化成肥料事業から撤退）
1954年 3月	四日市に硫酸法酸化チタン工場完成
1958年 6月	四日市に研究所開設（1963年6月中央研究所と改称）
1963年 3月	四日市に黄色顔料チタンイエロー工場完成
1965年 4月	中央研究所を滋賀県草津市に移転
1970年 9月	四日市に総合排水処理施設完成
1974年 10月	四日市に塩素法酸化チタン工場完成
12月	四日市に硫黄専焼による硫酸工場完成
1978年 5月	紀州鉱山を閉山
1981年 10月	四日市に有機中間体CTF製造工場完成
1983年 12月	四日市に磁性酸化鉄製造工場完成 （2001年3月ビデオテープ用磁性酸化鉄事業から撤退）
1986年 8月	シンガポールに、子会社ISKシンガポール社を設立し、 塩素法酸化チタン工場建設
1989年 8月	農薬の国内販売を子会社石原産業アグロ株式会社 （現石原バイオサイエンス株式会社）に移管
1990年 11月	米国の農薬事業会社を買収（ISKバイオサイエンス社）
1996年 7月	欧州地域の農薬販売を子会社のISKバイオサイエンスヨーロッパ社に移管
1998年 2月	ゼネカ社（現シンジェンタ社）に米国の農薬事業子会社を売却
1999年 2月	四日市で医薬品原薬の生産開始
2001年 12月	四日市に遺伝子機能解析用HVJ-Eベクター製造設備完成 （2022年3月に販売終了）
2005年 3月	富士チタン工業株式会社を完全子会社化
6月	フェロシルトの自主回収（2005年4月販売中止）を決定、 その後各自治体から廃棄物処理法に基づく措置命令受領
11月	中国に農薬販売の合弁会社（浙江石原金牛化工有限公司）を設立
2006年 9月	インドの農薬最大手UPL社と業務提携
2008年 3月	コンプライアンス総点検実施（再発防止策と併せ2008年5月公表）
2010年 6月	環境商品本格販売開始
2013年 8月	ISKシンガポール社の塩素法酸化チタン工場生産終了 （2020年3月に清算結了）
2015年 4月	ISKバイオサイエンスインディア社を設立
12月	フェロシルト全量の最終処分完了
2018年 1月	ISKバイオサイエンスタイランド社を設立 石原（上海）化学品有限公司を設立
9月	動物用医薬品の国内製造販売承認を取得
2022年 11月	動物用医薬品の米国条件付き承認を取得
2023年 9月	富士チタン工業を会社分割し、株式会社村田製作所との合弁会社 MFマテリアル株式会社を設立

石原産業株式会社